

平成28年度 近江八幡市家庭児童相談実績

①相談実績年次推移(実数)

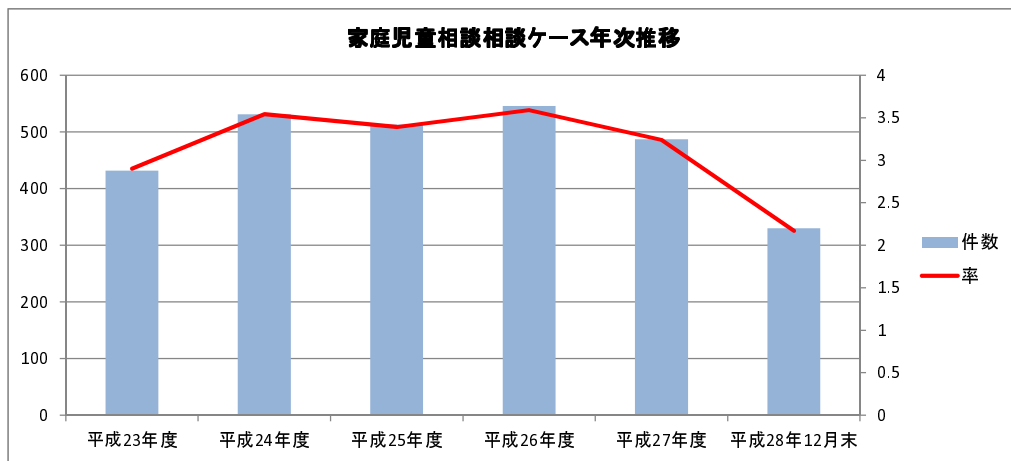
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年12月末
児童人口	14906	15004	15111	15168	15018	14958
要保護	233	291	312	247	181	143
要支援	58	88	66	108	68	26
その他	141	152	135	191	238	161
計	432	531	513	546	487	330
相談率	2.9	3.54	3.39	3.59	3.24	2.17

※『相談率』…児童100人当たりのケースの件数

※『要保護』…児童虐待ケース

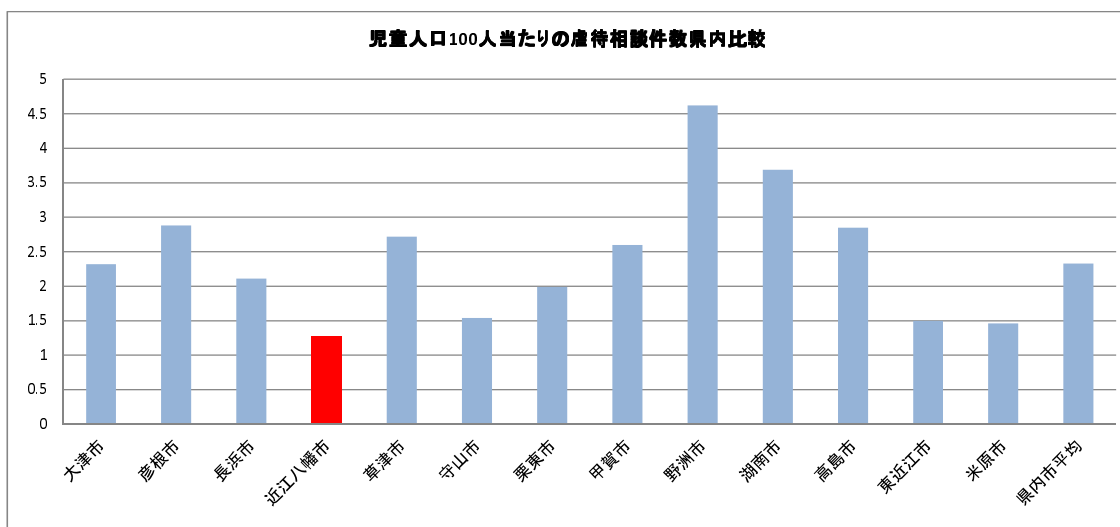
※『要支援』…児童虐待は確認されていないが虐待疑いの高いケース、虐待ケースとして終結に向かい始めているケース

※『その他』…要保護、要支援に当てはまらない、「1回きり相談」「不受理」となったケース(気になるケースとして子ども家庭相談室で把握)



②平成27年度児童人口100人当たりの虐待相談件数県内比較

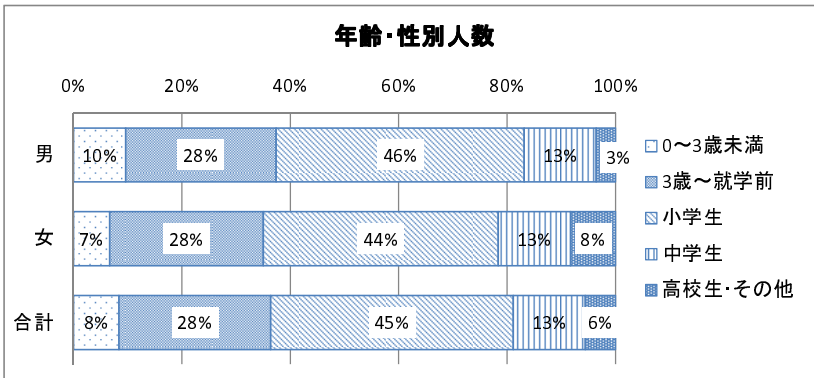
大津市	彦根市	長浜市	近江八幡市	草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	高島市	東近江市	米原市	県内市平均
2.32	2.88	2.11	1.28	2.72	1.54	1.99	2.6	4.62	3.69	2.85	1.5	1.46	2.33



③年齢構成・性別の人数

	0～3歳未満	3歳～就学前	小学生	中学生	高校生・その他	合計
男	8	23	38	11	3	83
女	4	17	26	8	5	60
合計	12	40	64	19	8	143

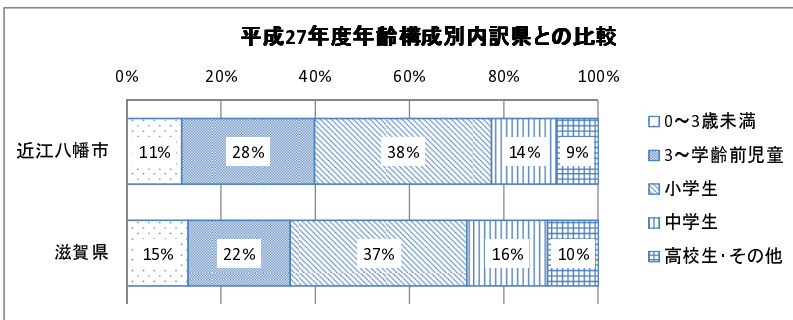
- ・男女比に大きな差はない。
- ・0歳～小学生の占める割合が高くなっている。



④平成27年度年齢構成別内訳県との比較

	0～3歳未満	3～学齢前児童	小学生	中学生	高校生・その他	計
近江八幡市	21	51	68	25	16	181
滋賀県	783	1,305	2,258	1,028	649	6,023

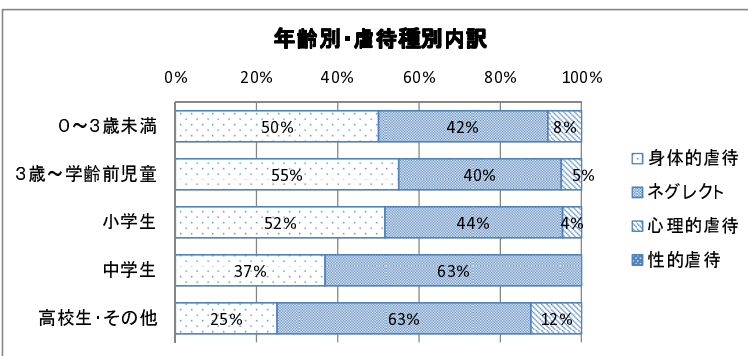
※滋賀県の数値については、
(児相対応件数)+(市町対応件数)-(児相と市町の重複件数)



⑤年齢別・虐待種別内訳

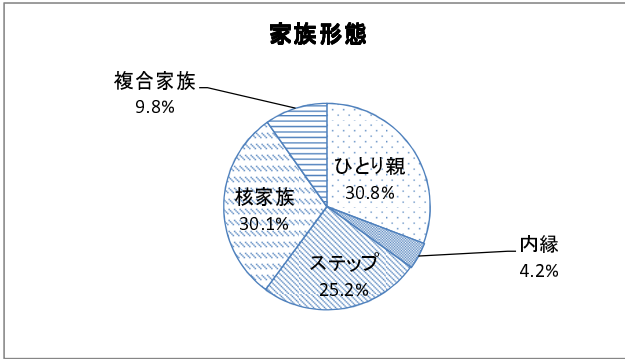
	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	計
0～3歳未満	6	5	1	0	12
3歳～学齢前児童	22	16	2	0	40
小学生	33	28	3	0	64
中学生	7	12	0	0	19
高校生・その他	2	5	1	0	8
計	70	66	7	0	143

- ・自分の身を守ることができない年齢ほど虐待リスクが高い。
- ・心理的虐待は虐待が表面化しにくく通告につながりにくい。



⑥家族形態

	ひとり親	内縁	ステップ	核家族	複合家族	合計
人数	44	6	36	43	14	143
率	30.8	4.2	25.2	30.1	9.8	100.0

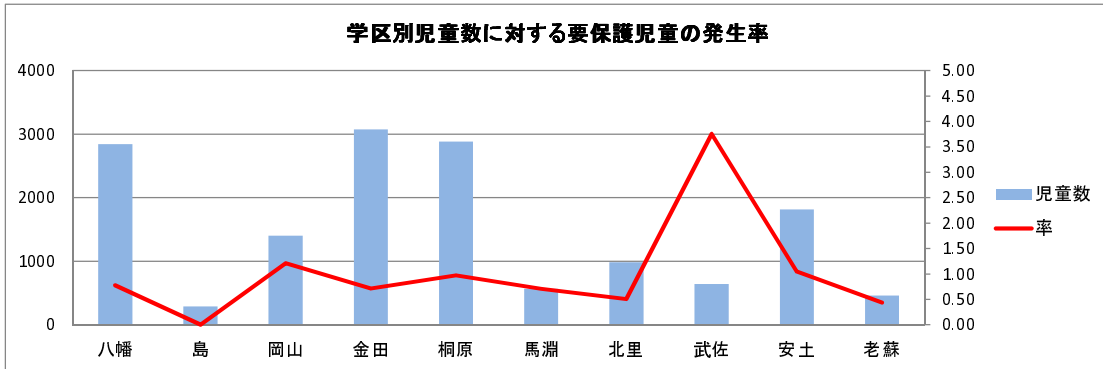


※核家族: 両親と子ども
 ※複合家族: 祖父母、両親、子ども

・ひとり親、核家族家庭での虐待発生割合が半数以上を占めている。
 ・地域とのつながりの希薄化等から、子育てへの不安、負担感など虐待が発生している可能性があると予測される。

⑦学区別児童数

学区	八幡	島	岡山	金田	桐原	馬淵	北里	武佐	安土	老蘇	合計
人数	22	0	17	22	28	4	5	24	19	2	143
児童数	2843	287	1401	3076	2885	565	985	639	1817	460	14958
率	0.77	0.00	1.21	0.72	0.97	0.71	0.51	3.76	1.05	0.43	0.96



・武佐学区における発生率が突出している。
 ・市内全域へはもちろんのことであるが、虐待発生リスクの高い学区への取り組みについて検討が必要である。

※参考: 近江八幡市の職員体制

子ども家庭相談室職員数(人)	年度	人数	体制
子ども家庭相談室職員数(人)	平成23年度	6	室長1(兼務)、正規2、嘱託2、臨時1(10月～)
	平成24年度	6	室長1、正規2、嘱託2、臨時1(6～8月、10月～)
	平成25年度	6	室長1、正規2、嘱託1、臨時2(4～9月、10月からは1)
	平成26年度	5	室長1、正規1、嘱託2、臨時1
	平成27年度	6	室長1(兼務)、正規2、嘱託2(9月から欠1)、臨時1
	平成28年度	6	室長1、正規1、嘱託4(うち1名女性相談員)